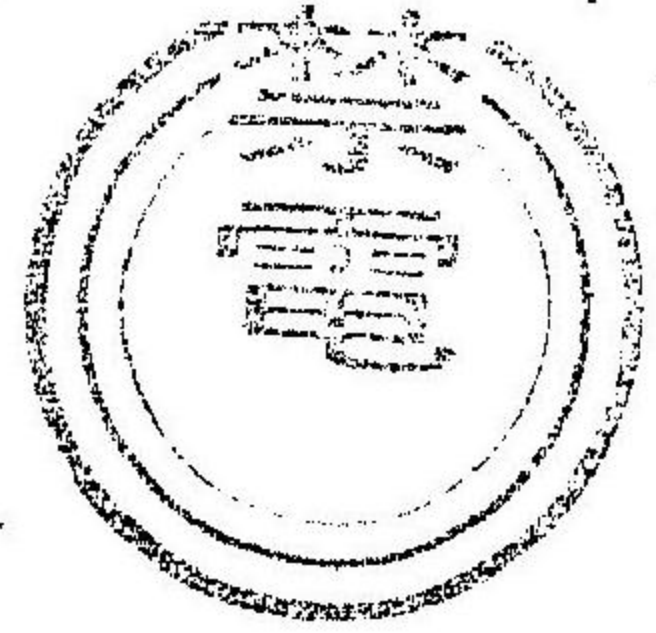


CZ  
711  
050



刑法  
治罪法  
公令見出懷本

刑法治罪法実施ニ付テハ右ニ関スル公布  
類屢々ニシテ其号数頗ル多シ是レ其職ニ  
該テ閱覽一日モ欠ク可カラス然レ氏事務  
多端ノ際諸彥其意ヲ得ルニ暇アラシク因  
テ今其率ヲ摘撮シ傍ヲ番号月日ヲ附シ  
以テ覽者ニ供シ聊カ其弁ニ加ヘントヲ欲ス  
名テ公令見出ト去フ

此書ハ即今新法実施ノ際最モ速カナルヲ  
要ス故ニ一月三十一日ヲ以テ停ム以降猶々  
公布ノ嵩ヲ待チ尚ホ逐次出版セントス

刑法  
治罪法 公令見出

明治十三年

十三年七月ヨリ  
十五年一月卅一日迄

太政官布告ノ部

○茅三十三号 七ノ十七

刑法別冊ノ通改定實際施行ノ期日ハ追テ

別冊畧ス

○茅三十七号 全

治罪法全上

○茅五十三号 十三ノ九

十三年 太布告

特58  
895

人民ノ上書一般ノ公益ニ関スルモノハ渾テ  
元老院ニ於テ取扱フ

同布達ノ部

○茅四十六号

九ノ十五

司法警察ノ事務当分府県へ可致委任昔明治  
七年百三十二号ヲ以テ相達候処其省ノ都合  
ニ依リ漸次各地ニ換事ヲ置キ右ニ属スル事  
務地方官ヨリ引受去ク

○茅五十六号

十ノ廿九

警視局巡查ノ礼服改正

○茅五十九号

十一ノ廿五

司法警察事務ノ便宜ニ因リ司法卿ヨリ府縣  
警部ヲシテ檢事補ニ兼任セシムル儀モアル  
ヘシ

司法省布達ノ部

○丙茅十五号

十一ノ一

大審院へ上告中ニ係ルモノ又罪ヲ犯シ餘罪  
俱發去ク

○丁茅十七号

八ノ二

疾病事故等ニテ已ムヲ得サル片ハ相当ノ代

十三年 太達

司達

二

人ヲ出シ一事件ヲ限リ受任スヘシ

○丁第十九号

九ノ十三

法律布令上疑問ノ義ニ付檢事ヨリ伺出タル  
モノハ各府縣ヨリ伺出タルモノト同様ニ可  
取計ノ去ク

○丁第二十号

九ノ廿一

法律布令上疑問ノ義ニ付太政官へ司法省ヨ  
リ伺并指令

○丁第廿一号

九ノ廿七

竊ニ種々ノ物品ヲ以テ限月賣賞類似ノ商業

ヲナスモノ本年第二十一号布告ニヨリ処分  
去ク

○丁第廿二号

十ノ十二

刑事審理表中上告ニ係ル去ク

○丁第廿四号

十ノ十六

各廳へ差置ク官金紛失等ノ節去ク

○丁第廿八号

十二ノ廿七

民事裁判上呼出人ノ地名人名等誤写スルニ  
因テ生スル失費ニ付太政官へ伺并指令

○丁第廿九号

全

十三年 司達 内達

各裁判所ニ檢事局ヲ置キ裁判所備付書類并  
需用品共檢事局ト共通互用

内務省布達ノ部

○乙卯四十号

十一ノ八

監獄署廢設去々

明治十四年

太政官布告ノ部

○甲二号

一ノ三十一

明治九年五十六号遺失物規則中第六條改正  
去々

○甲十七号

三ノ八

集治監ニ入ルハキ囚徒并其費用ノ區分

別紙畧ス

○甲二十二号

四ノ九

福井県管内裁判事務ノ義金沢裁判所ニ屬ス

十四年

太布告

四

○第三十六号

七ノ八

刑法治罪法來十五年一月一日ヨリ施行

○第三十九号

七ノ廿九

金沢裁判所管内越前國敦賀郡若狹國二口自  
今京都裁判所管轄

○第四十一号

八ノ廿五

公賣スル新旧公債証書買受ケタル者又ハ裁  
判言渡ニ依リ流質トナリタル証書ノ有スル  
モノ処分

○第四十四号

九ノ二十

透警罪審判ニ関スル手續裁判言渡ニ付上訴  
不許云々

○第四十五号

全

公訴私訴ニ係ル控訴上告及ヒ証人呼出費用  
等ノ定メ

別紙畧ス

○第四十六号

全

書類送達ニ付治罪法第二十四条ノ制限ハ当  
分ノ内不及其儀

別紙畧ス

十四年 太布告

五

○第四十七号

九ノ二十

被告人ヲ責付ニ付キ証書ヲ取り呼出ス片ハ二十四時間前ニ通知シ事由ナク出延セサル片ハ責付ヲ取消ス

○第四十八号

全

透警罪裁判ハ当分府県警察署又ハ分署ニ於テ裁判ス 十ニ廿八改正アリ

○第五十二号

十ノ四

鳥取県管内裁判所事務松江裁判所ニ属ス

○第五十三号

十ノ六

各裁判所ノ位置及ヒ管轄區畫改正

別表畧ス

○第五十四号

全

輕罪ニシテ豫審ヲ要セサルモノニ限り治安裁判所ニテ輕罪裁判所ヲ開ク

○第五十五号

全

補充判事ノ儀当分其裁判所々長ノ指定スル処ニ任ス

○第五十六号

十ノ七

小笠原島ハ当分東京府出張所ニテ治安始審

十四年 太布告

六

ノ権限ヲ以テ裁判ス可シ管轄ハ東京上等裁判所

○第五十七号 十一ノ七

伊豆七島ハ当分諛島吏へ委任輕罪以上ハ東京始審裁判所ノ管轄トス

○第五十九号 十一ノ八

勾引セシ被告人訊問期限四十八時間ニ在リ夜間ニ限リ留置場へ入置ク

○第六十二号 十二ノ六

十年十三号処分規則ハ来十五年一月一日ヨ

リ廢止

○第六十四号 十二ノ九

密賣淫ハ従前ノ通東京ハ警視廳其他ハ地方官へ委任

○第六十七号 十二ノ九

刑法附則相定十五年一月一日ヨリ施行

別冊畧ス

○第六十九号 全

陸軍刑法改定

○第七十号 全

十四年 太布告



海軍刑法改定

○第七十一号

十二廿八

治安裁判所ニテ輕罪裁判所ヲ開ク片当分警部ヲシテ檢事ノ代理セシム

○第七十二号

全

刑法施行ニ付法律規則中罰例ニ係ルモノ知分方 別紙畧ス

○第七十三号

全

無能力者代人民事擔当人ト称スル去ク

○第七十四号

全

治罪法中刑事ノ控訴ニ関スル事件ハ当分ノ内実施セス

○第七十六号

全

十四年五十三号裁判所名称區畫ノ内削除合併等

○第七十七号

全

当分ノ内相川其他各治安裁判所ニテ輕罪裁判所ヲ開ク去ク

○第七十八号

全

重罪裁判所管轄定ノ十五年一月一日ヨリ施

十四年 太布告

行

別紙畧ス

○第七十九号

全

北海道并沖繩県ノ儀当分従前ノ通官廳ニ於テ裁判ス

○第八十号

全

十四年四十八号布告ヲ改正透警罪ノ儀ハ三十六号布告ニ拠リ去ク

○第八十一号

全

刑法第三條新旧ヲ比照去ク

○第八十二号

全

十四年十二月三十一日以前審理ニ着手セシ刑事ハ十五年一月一日以後モ従前ノ規則ニ從ヒ知分ス

○第八十三号

全

治安始審裁判所ノ権限ヲ定

別紙畧ス

太政官布達ノ部

○第一号

一ノ十四

東京府下ニ警視廳ヲ置ク

○第四号

全

十四年 太達

陸軍部内ニ憲兵ヲ設置

○第十一号 三ノ十一

憲兵條例ヲ定メ先ツ東京府下ニ一隊ヲ実施  
府県ニハ追テ 條例畧ス

○第十三号 三ノ十八

八年八月囚人給与規則ヲ廢シ在監人給与規  
則ヲ定ム十四年七月一日ヨリ施行

規則畧ス

○第十四号 全

内務省所管集治監獄司以下官等定メ

○第十五号 全

府縣官中典獄書記者守長者守ヲ置ク

○第十七号 全

監獄者守長者守ノ服制提燈徽章定メ

○第十八号 全

監獄者守長及ヒ者守ニ取締リノ為メ帶劔

○第十九号 三ノ十八

集治監職制

○第二十二号 三ノ廿一

陸軍憲兵服制

十四年 太達

○第六十二号

七ノ九

憲兵上長官以下提燈徽章章定ノ

○第六十四号

七ノ二

在監人傭工規規則定十四年八月一日ヨリ

規則畧ス

○第七十号

八ノ十

石埕國樺戸郡へ已決監ヲ設置樺戸集治監ト  
名称

○第七十七号

八ノ三十一

刑法三十条ニ各地方ニテ違警罪目ヲ定メ發

行シタル片ハ主務ノ省へ届出ヘシ

○第八十号

九ノ十五

東京府下憲兵十四年十月十五日ヨリ勤務施行

○第八十一号

全

監獄則頒布

○第八十二号

九ノ二十

司法官吏ヨリ巡查及ヒ兵負ヲ要求使用スル  
手續

○第八十六号

十ノ四

取締リノ為メ巡查或ハ押丁ヲシテ公庭ニ入

十四年 太達

十一

リ看護セシム

○第九十三号 十一ノ三十一

十年四十七号大審院裁判所屬ヲ廢シ書記ヲ  
置ク 別表畧ス

○第九十号 十一ノ廿九

監獄看守長及ヒ看守ハ礼服着用ノ節モ其制  
服ヲ用フ

### 司法部布達ノ部

○第一号 一ノ十五

吟味願ヲ廢止自今糾問判事檢事又ハ警察

官へ告訴ヲ為スヘシ

○第三号 三ノ四

刑民裁判上ニ掛リ司法部へ歎願再審願等ハ  
自今指令ニ不及却下ノ手續ニモ不及

○第四号 八ノ五

人民ヨリ郡區戸長等ノ職務上ニ付詞訟ハ上  
等裁判所ニ於テ裁判ノ如自今地方裁判所ニ  
於テ審判ス手續ハ上等裁判所ノ振合

○第五号 十ノ十

新法実施ノ後ハ司法警察事務上時宜ニヨ

十四年 大連 司達

リ巡查ヲシテ警部ノ代理トス

○甲第七号 十二ノ二

治罪法三百十五條裁判言渡ノ謄本ヲ求ムル者ハ其用紙一枚三錢ノ費用上納

○甲第八号 全

大審院諸裁判所々屬代言人規則

規則畧ス

○丙第一号 一ノ十七

九年四十八号司法警察仮規則中改正

○丙第二号 一ノ二十

司法職制中檢事并檢事補ノ職制ヲ被定候知十年丁十四号達中檢事ノ章程ハ現存ノ儀ト心得ヘシ

○丙第三号 二ノ十五

檢事上告文書正副差出方十年丙十三号十二年十七号達ノ欠自今正本ノ外差出ニ不及

○丙第四号 二ノ十六

司法省附屬代言人廢止

○丙第五号 二ノ廿二

代言仕掛リ事件ハ元代言人ニテ扱フ

十四年 司達

○丙茅六号

三ノ四

贓物等途中又ハ領置中盜難等ニ罹ル処分方  
岩手県ヨリ伺指令

○丙茅七号

四ノ廿三

事主有魚ニ因テ區所スル云々兵庫県伺

指令

伺ノ趣三年ヲ経テ事主知レサレハ官没ス

但罪証ニ必要ナラサル物件及ヒ久シキニ

難堪モノハ公賣云々

○丙茅八号

五ノ八

横濱外四ヶ処ノ各裁判所ニ檢事ヲ置

○丙茅九号

五ノ十七

名古屋外十二ヶ処ノ各裁判所ニ檢事ヲ置

○丙茅十号

五ノ十九

勲位ヲ有スル者処分方太政官へ伺并指令

○丙茅十一号

六ノ四

詞訟審判上必要ニ付各廳郡區役所等へ簿帳  
写取方手續并費用仕拂云々

○丙茅十二号

九ノ廿二

違警罪ハ警察署ニテ裁判ニ付各警察署并  
分署ノ名称管轄區畫取調

十四年 司達

十四

○丙茅十三号 十一ノ十  
新法実施云々 甲茅五号達ニ全シ

○丙茅十四号 十一ノ十七

木更津外十九ヶ所ノ各區裁判所へ檢事ヲ置

○丙茅十五号 十二ノ五

治罪法実施ノ上ハ豫審判事檢証及ヒ物件  
差押等急速ヲ要スル場合巡查ヲ使用スル  
義ヲ豫テ達シ置ヘシ

○丙茅十六号 全

治罪法中犯人證人等押印ノ条ニ実印無之者

ニ限リ押印為致儀ト心得ヘシ

○丁茅一号 三ノ二

新聞条例犯者表云々

○丁茅四号 五ノ九

清國駐留領事其他裁判権限改正

○丁茅六号 五ノ廿八

司法卿ヨリ各檢事ヘノ達書都テ大審院又ハ

裁判所ト記載ノ下

○丁茅七号 六ノ四

裁判上諸役所ノ簿帳寫丙茅十一号達ニ全シ

十四年 司達



○丁第 八号

七ノ十六

後備軍編令者犯罪ハ檢事ヨリ求刑前鎮臺  
へ照會スヘシ

○丁第 九号

六ノ四

人民ヨリ郡區戸長ニ對スル詞訟取扱方等地  
方裁判所へ達

○丁第 十号

八ノ廿二

地方裁判所各支廳へ檢事ヲ置

○丁第 十三号

九ノ廿一

陸海軍遠式佳違ヲ犯シタル者憲兵ニテ処分

○丁第 十六号

十ノ十八

大審院并諸裁判所ノ順次定メ

別紙畧ス

○丁第 十八号

十ノ二十

書記局其他訟廷等ノ掌務心得

心得書畧ス

○丁第 二十号

十ノ廿八

憲兵隊將技以下職務上ノ犯罪処分方

○丁第 二十号

十一ノ十五

法律上判事檢事書記等署名捺印ヲ要スル

十四年 司達

十六

節ノ印章

雛形畧ス

○丁第二十号

十二ノ五

罰金科料裁判費没收物品徴收ハ書記局ニテ  
擔当シ会計へ送付

○丁第二十六号

全

使丁規則十五年一月一日ヨリ施行

○丁第二十七号

十二ノ九

治安裁判所ニテ輕罪裁判所ヲ開ク云々

書式等畧ス

○丁第二十八号

十二ノ廿

治罪法中令状類并宜誓等ノ書式

書式畧ス

○丁第二十九号

十二ノ十三

郡區戸長へ公文往復十五年一月一日ヨリ都テ  
裁判所ノ名ヲ用ユ

○丁第三十号

十二ノ十四

各裁判所印章調製十五年一月一日ヨリ改定

寸法等畧ス

○丁第三十一号

十二ノ十五

裁判言渡ノ謄本ヲ求ムル者代價ノ義無資力

十四年 司達

十七

ノ者ニ限リ無代價ニテ下渡シ不苦

○丁第三十号 十三十七

大審院裁判所へノ達書中事件ニヨリ所長限  
リ留置檢事ノ回覽ニ付スル去々

○丁第三十号 全

諸表式雛形

○丙第二号 十三十八

刑法六十二条ノ令状ハ其刑執行ヲナス地ノ  
始審裁判所檢事ヨリ発ス

追加

○丙第十七号 司法省達

治罪法令状様式并警察官令状発スル去々

○丙第十八号

刑事裁判ノ宣告ヲ犯人本貫へ通知

○丙第十九号

違警罪事件表并既決表調成方

○第二号 十二廿八 太政官布達

十四年茅五十三号布告従前上等裁判所區

十四年 追加 十八

裁判所トアルハ控訴裁判所地方裁判所トアルハ始審裁判所区裁判所トアルハ治安裁判所ト改マル義ト心得ヘシ

○茅三百三十三号

十二廿三

敬言視廳達

治罪法実施ニ付犯罪心得規定

別紙畧ス

明治十五年

太政官布告ノ部

○茅一号

一ノ九

治罪法三百八十一条中弁護人ナクシテ弁論ヲナスハ刑ノ言渡無效トアレ凡其所屬代言人ナキ場所ハ此限ニアラス

○茅四号

一ノ廿六

陸海軍刑法ノ新旧法比照規則

規則畧ス

○茅五号

一ノ廿八

十五年太布告

十四年八十三号民事裁判権限ノ義布達候知  
当分ノ内西郷外十三ヶ所ノ治安裁判所ニ於  
テ始審裁判所ノ権限ヲ以テ大判ス

司法省布達ノ部

○丙第一号 一ノ十六

統計表編輯ニ付毎年一月ヨリ十二月迄違警  
罪事件ヲ記載シ翌年二月迄ニ差出

○丙第二号 一ノ廿七

透警罪各表式欄外ニ廳名記載方去

○丁第一号 一ノ十二

陸海軍治罪法制定以前旧慣ニ拠リ手續右  
両省ヨリ伺并指令

○丁第三号 全

人民ヨリ詞訟又ハ伺等十四年五十三号布告

ニ依リ管轄透ハ其所ヘ移ス去

○丁第四号 一ノ十二

民事及ヒ勸解件数表一月ヨリ取調三ヶ月毎

ニ調成翌月十五日限リ治安裁判所ハ所轄ノ

始審裁判所ニテ取纏ノ

○丁第五号 一ノ十六

十五年 太布告 司法

統計表ニ供スル為メ一月ヨリ十二月マテ豫審  
事件ヲ翌年二月迄ニ但従前ノ規則ニテ知令  
セシ者ハ件数及ヒ人員ノミキ記載シ公判ハ従  
前ノケ条ニ従フ

○丁第七号 一ノ十六

各裁判所ヨリ管内人民ヘ達スヘキ事件ヲ地  
方官ヘ依頼シタル向モ有之右ハ従前ノ手續  
ニ従フ

○丁第九号 今

裁判言渡ノ謄本ヲ求ムル者ノ上納金并使丁

規則中遠約金ノ納方

○丁第十号 一ノ廿三

十四年八十三号布告治安裁判所ニ對スル  
控訴ハ始審裁判所ニテ受理スヘキ知布告ヲ  
知ラス控訴裁判所ヘ為シタル片ハ控訴裁  
判所ニテ受理シ始審裁判所ヘ引継ク

○丁第十一号 一ノ三十一

重罪裁判所印章雛形

○丁第十二号 今

判事檢事出京ノ節判任官以下ノ者是マテ  
十五年 司達

隨行シタル向ニ有之処以後不相成

内務省布達

○乙芳三号 一ノ二十

巡查監獄看守等經濟ヲ異ニスル向ヘ轉任ノ  
ヤツ滿年賜金ヲ給ス

明治十五年二月八日

出版御届

東京麻布材木町  
四十一番地

新浮縣士族

編輯兼出版人 安達堯宋







CZ  
711  
050



035849-000-1

CZ-711-050

刑法治罪法公令見出懷本

安達 堯宋 / 刊

M15

BBP-0435

